

この地上の 出来事

ひとの行方はどうなる？

Yシンジ

1.

先読み、世界恐慌

リーマンショックはまだ終息しない
ユーロ圏の信用不安はますますヒートアップ
日本の東日本震災の復興ははるか彼方に
中国の為替操作が世界に不信を投げかけ
世界の各国ともにサイフの底がみえた
過剰な投資・支援・見栄で
懐がもう入らなくなたのは
巨大グローバル企業のみで
そして、富裕層のあの大きなお腹に
分配されるのです。

疲弊した

この地球の経済圏に

再び追い打ちをかけて

アメリカ発の新たな

世界恐慌がカウントダウンか

いま、アメリカで始まった

若者が抗議してストライキしている

これが、一般市民へ更に世界へ

深刻な流れが

債務問題を発端にはじまる

グローバル経済は一国の破たんでは

収まらない

世界へ負担と深刻な

貧困や飢饉を展開増殖する

もうすぐ

号令が切れる

走り出したら

もう止まらない

この、余波をこうむらないように

金が と思うが

もう世界は金では

復興できなくなるかも

グローバルは

人心のみで

経済は閉鎖的でありたい

無駄な物はやはりいらない

飽食も罪悪であり

TVのグルメ番組のシャットアウト

余計なデジタル家電の廃却

過剰な情報を阻止しよう

目先だけの人生じゃない

ゆったりとした人生

刺激や快楽を過剰追及しなく

ありのままがいい

関係ないマネーゲームの

人質や人柱にならないように

ひたすらに

退散して無視して

耐乏生活をこよなく愛して

ささやかな自然の移り変わり

太陽の恵みに感謝して

積み重ねている

読んでみたい本を

毎日読み続けましょう

世界はすでに終焉か？

とにかく世界の債務が
刻々と増加していく
すべての経費を合計すると250兆ドル
創造を絶する額であります
これでも世界は破たんしないの
一旦チャラにでもするんかな
このままだと絶対返済は不可能
日本がアメリカ国債購入分9000億ドル近い
保有があるが償還てだめだろう。
中国は償還を迫ったときくが・・・
文明の繁栄は
借金によるものである・・・といっても過言ではないか
さて、この地上の純粋な利益はどこ？
そう、いま99%の運動している
1%の富裕層の懐にあり
そして、戦争での消費
果てしない宇宙開発
などなどで
1%の人たちは
ほとんどが生まれながらにして
富裕と贅沢を実感して
小生のように
千円で明日はどうなるか心配している
こんな格差がいま世界の若者が
立ちあがった。
まず、富裕層の解体
ゼロ格差社会創設
社会主義ではない
全人類社会体制
生活レベルの世界統一
現社会機構を一旦破壊
なかなか、難関が待っています
地球外からの侵略などで
地球が1つにまとまれば
加速するかも

この先何が起こるか
まったく想定できません
英知よ
導きたまえ

旅の終わりに

ひたむきに前を向いて
目の前に広がる
夢を実現してきた
いや、実現が不可能なこともあった
しかし、懸命にやるうちに
実現出来たこともあった
それは、偶然かもしれない
努力の結晶かもしれない
ただ、後悔はしていない
自分を信じてきたから
周りの人に励ましてもらおうと
却ってめげてしまう
独りでひたすらが
信条でもあった
妻はなにもいわず
そっと風のように
後押ししてくれたのを
知っているが、敢えてお礼を
言えなかった。
それでも、黙っていてくれる
いま 私がふと立ち止まり
自分の道程を振り返り
なんだったんだろうと
疑問を投げかけても
微かな記憶しか残っていない
それも老齢化とともに
いつしか消滅すすのでしょうか
暗闇の過去の道程しか見えない
後悔はしないと
いつしか
目の前の夢の提灯は
極端に少なくなって
追いかけていく
気力が希薄になりかけていた
目の前の

小さな草花や
昆虫や小鳥
きらきらと光り輝く
小川のさざ波
燦燦と降り注ぐ太陽のひかり
爽やかな風が
いま、現実の薫りを
私の身体をすり抜けた
これが
いきている
実感だよと
それでいいんだ

匂いの記憶

やっとたどりついた
懐かしい匂いの街
心に溶け込む町の喧騒
ふと、幼少の時
駆け回った時代に
あの食堂からおいしそうな匂い
ケーキ屋さんの甘ったるい香り
病院の消毒の匂い
匂いが遠い記憶を呼び起こす
靴や産の皮や、豆腐屋さん
さまざまな匂いや香りが
私の脳みその奥に
凝縮したようにして
詰まっていました
微かな匂いで
昔の私へとタイムスリップ
あの頃は貧乏で
高級なケーキは食べられなかった
とても美味しそうで
毎日その店の前を通る時
大きく息を吸い込むようにして
おいしい香りと甘い香りを
腹いっぱいにしていました
その頃の我が家の
夕ご飯の定番は
ライスカレーいやカレーライス
その頃私の家では
ライスカレーと言っていました
オヤジがいうには
ライスを先に皿に入れて
カレーを上から流し込むから
ライス カレー が正解と
ふむ、理屈はそうだが
次に多く食べたのが
コロッケでした

当時は家で作らないで
肉屋さんの出来たてを
食べたものでした
いま、その味を思い出して
コロッケをつくる
香りの記憶は
繊細だ
微かな匂いの混濁も
分別してしまう
そう、彼女の
フェロモンの香り
知らず知らずに
かぎ分けている
癒しと安らぎが
ゆっくりと
わたしを虜にする
今宵も
誘われそう

エシカル

Ethic Ethical

「エシカル消費 倫理や道徳的
社会貢献につながる商品を消費しようという動きの
エシカル消費が動き出した
エシカルの意味は
社会貢献につながる商品を消費しよう
という意味らしい
ルアンダの人に
フェンディの孫娘が
デザインとか製造技術を
提供して貧しい人達を
支えていこうという
ビジネス+社会貢献となる
ルアンダの民芸品が
どんどん販売できて
生活の支えになればいいのですが
デザインに加え加工技術を考案し
多くの世界の市場で販売が
可能であれば問題ないのでしょうか
それでも販売網やノウハウがなければ
宝の持ち腐れとなるのです
気をつけねばならないことは
労働者に「搾取」があっては
ならないことです
とかく、大義名分の影には
こうした悪徳経営者がいるのです
しかし、エシカル消費も
限界があるのでしょうかから
こうした動きと相反した
無駄な物は買わない
使用しない
極端な必要最小限の
生活を良しとする
動きも出てきている
これも、人間の欲望との

戦いでしょうね
人の心を弄び
不当な暴利を得て
ぬくぬくと生活している
わずかな富裕層が
この世にいるのです
富の集中は
自由経済では避けられない
貧乏人は
永遠に貧乏であり続ける
残念ですが・・・

年金を考える

小生は62歳

母の介護で無職

仕事が出来ないのである

60歳から年金を受給中であるが

基礎年金のみなので7万である

母が養老年金でわずかしかない

合計10万で母の介護が十分にできない

こうした現状は

生活保護家庭より悲惨です

なぜ、年金だけを

特出して改善するのか

年金は、その人の人生を決定していく

絶対的なライフラインであろうと思う

なぜなら、人生設計は学生から社会人へと

成長と共に、将来の設計が確立していきます

「経済変動」はありましよう

政治の変革もありましよう

しかし、こうした、変動を吸収して

安定した人生を保証するのは

国家の使命です

年金をまじめに収めた人が

老後の安定を夢見て

コツコツと納入した年金を

勝手に箱物や海外投資にて消費して

不足分がつづくので

60歳支給を65歳にのばし

今回は68から70歳へのばすと

こうした、議論がでることが

全く、国民不在で

資金不足があるので先延ばし

単純きまわりない幼稚な発想で

あいた口がしまらない

人のゆくえ

いま
あなたと
多くの人が
人生の限られた時間を
手さぐり模索しながら
道程を歩く
決められた時間の経過が
人々の生きる速度を制限し
環境の変化とか
社会の変動とかに
複雑に絡み合い
とにかく
食べるために
その為に仕事を選択し
食を確保し住居を決める
そこには
毎日の繰り返しの生活がある
そうして単調な繰り返しが
多くの人の人生の大半を占有し
単純な流れの中に
ささやかな楽しみを見つけ
失速しないように
着実に生きていくように
努力し、頑張っ
喜怒哀楽を乗り越えて
それで、疲れ切った肉体は
終焉を迎える
意識ははっきりしていても
肉体が言うことをきかない
意識は飛び出して
肉体を離れ
まじまじと
抜け殻を見つめて
さよならと
言って

消えていく
さよならを言う前に
肉体とのこれまでの人生の
採算と感想や報告を
終えてしまう
最悪の人生でも
きらりと輝く一瞬がかならずあるし
とてつもなく 楽しかったり
苦しい、悲しいこと
あの
胸の高鳴り抑えきれず
少女に恋を打ち明けた
あの時の
高揚感は今も胸に刻まれています
しかし、それなりに
よかったじゃない
と
お互いに同感して
永遠の別れをしました
意識は、もうすっかり
今までの人生や肉体について
記憶をなくしてしまい
新たな人生の肉体に宿る
輪廻再生
そうあって欲しい
いつまでも
命が続くこと
怖くない死の淵がなくなり
たくましく
生きる希望が
めらめらと湧き上がって
来ました
私にも、あなたにも
そして、
多くの人にも